



7 研修第 12 号

(令和 7 年 10 月)

発行: 宇治市乳幼児教育・保育支援センター

アドレス: nyuyojicenter@city.uji.kyoto.jp



令和 7 年度 乳幼児教育・保育協働研修通信



テーマ
「行動分析と
カンファレンス」

令和 7 年 9 月 10 日(水)

第 12 回研修会(発達・子育て支援分野)を
開催しました。

20 名の先生方と一緒に学び合いました。
(保育所(園)2 名・幼稚園 2 名・認定こども園 9 名・療育施設 7 名)

※ この研修通信は、園内の体制等でご参加いただけなかった皆さまにも研修会での学びの一端が伝わることを願って、研修会終了後の参加者による『振り返りシート』をもとにまとめたものです。



1. 説明・ビデオ視聴

「保育場面での子どもの様子」

宇治市立ひがしうじ幼稚園 4歳児 たんぽぽ組 担任 森尾 麻香



保育場面での子どもの様子の
説明・ビデオ視聴から感じたこと

その子の幸せのために寄り添いたい、
理解したい、そんな想いを感しました。

全体での活動での個別の配慮、
声かけ・誘いかけのタイミングなど
難しさを感じた。

支援児さんが楽しく無理なく参加できる
方法を考えながら保育されている。

よく見る行動や様子があり、
自分だったらどうするか考えさ
せられました。

子どもたちのペースや行動に
合った環境を作られている。



2. グループワーク

「支援が必要な子どもへの関わり方について」

グループワークの中での気づきや学び



子どもたちの「やりたくない」という
言葉の背景を考え、どう工夫していけ
ば楽しめるかを考えていくことが大切

担任と加配とのねらいや共通認識を
すり合わせる事がとても重要

色々な場面を想定して環境を整え
心の動きをとらえる。言葉にできない
思いを汲みとっていく。

環境と関わり方が大切



3. 解説

「集団活動が苦手な未就学児への支援
～小児作業療法士の視点から考える～」

社会福祉法人京都府社会福祉事業団
京都府立こども発達支援センター
作業療法士 平松 玲夏 先生



解説を聞いて心に残ったこと

なぜ

- ・ 子ども自身が「なぜ」できないのかわからないので、大人が「なぜ」を考える必要がある。
- ・ その子どもが何に対して活動に参加しにくいのか、視覚的に伝えていくなど、大人が「なぜ」を考えていくことが大切
- ・ 子ども一人一人の行動について「なぜ」その行動をしようとしたのかという視点で一つ一つの行動に対する手立てを考えていくということの大切さ

環境

- ・ 視覚からの情報が優先されてしまう環境に要因がある。
- ・ 子どもの主観に対する働きかけの大切さについて、視覚・聴覚に着目して環境を整えることの大切さ

